

献穀米拔穂祭

9月25日、献穀田のある鈴岡地区で「献穀米拔穂祭^{ぬいぼ}」が今金町農業協同組合主催で執り行われました。

今年、5月下旬に同地区で御田植祭を行い、献穀者の吉本辰也さんの手により生育され、菅笠、紺の単衣に身を包んだ4名の刈女（かりめ）の皆さんが、たわに実った稲穂の刈り取りを行いました。

刈り取った献穀米は、10月22日に皇居へ献上されます。



米初出荷セレモニー

9月19日、今金町玄米バラ集出荷調整施設で「米初出荷セレモニー」が行われ、町、農協関係者など20名が参加しました。今年度は、鈴岡の吉本辰也さんの新米ゆめぴりか5トンが搬入されました。吉本さんは、「気候の関係もあり、例年に比べると収穫量は少なめ」と話していました。セレモニーの最後には、新米で炊いたおにぎりを参加者でいただき、秋の実りに舌鼓を打っていました。



光の里 秋祭り

9月29日に光の里において秋まつりが開催され、利用者を始めご家族や地域の方々などおよそ200人が来場しました。この日は秋晴れのさわやかな天候となり、会場の外では手打ちそばなどの模擬店や原木しいたけ、パンの販売もあり大変盛況な様子でした。

屋内のステージでは民謡歌謡道楽会による民謡や狩場太鼓保存会による狩場太鼓の披露があり、また、今年3月8日に国の重要無形民俗文化財に指定された松前神楽せたな保存会による松前神楽も披露され、来場者を楽しませていました。



認定こども園いまかね 遠足

9月26日、認定こども園いまかねの遠足が行われました。ぱんだ組（4歳児）ときりん組（5歳児）の計68名が、神丘構造改善センターから愛指令ランドを目指して歩きました。

遠足で愛指令ランドへ行くのは初めてのことで、子どもたちは秋晴れの空の下でブランコなどの遊具で遊んだり、先生と一緒に探検しながらとんぼやバッタを捕まえたりして楽しみました。

お昼ご飯の時間には、工夫を凝らした色鮮やかなお弁当を見せ合いながら美味しそうに食べていました。



今月の特集

行政情報

各種情報

情報かわら版

まちの話題

まちな行専定

学びの道標へ

布絵本 サークル「3人展」

10月9日から11日の3日間、町民センターにおいて布絵本サークル「三人展」が開催されました。

布えほんサークルは10年ほど前から岩坂龍子さん、坂本孝子さん、柴谷澄子さんの3名で活動されており、これまでに制作した57点の作品が展示されました。ひとつひとつ丁寧に縫い上げられた布絵本は、絵・文ともに自作されたものもあり、戦争体験から作られたお話や今金町にまつわるお話など素敵な作品ばかりでした。今後も布えほんの温かさや楽しさを伝えていきたいとお話をされていました。



とれたて野菜市 寄附

10月1日、今金町有志「ドリームマルシェ」代表の苧屋泰裕さんが、主催している「とれたて野菜市」の売り上げ金の一部を寄附しました。

「高齢者等の様々なサービスに利用してもらいたい」と社会福祉協議会の西雪会長に手渡し、また、教育委員会には子どもたちのために活用してもらいたいと絵本2冊を田中教育長に寄贈しました。「ドリームマルシェ」による寄附は4年目で、今回で7回目となります。



2018 種川収穫感謝祭

10月14日、種川温泉休憩所の駐車場で「2018 種川収穫感謝祭」が開催されました。およそ150名が来場し、収穫の秋ならではの地元産の野菜の販売や米のすくい取りなどに長蛇の列を作っていました。

また、射的やかたぬきといった縁日ゲームでは、子どもたちの楽しそうな笑い声も聞こえ、賑わいを見せていました。ほかにも温泉の無料入浴、保健師による健康相談なども行われ、皆さん楽しんでいました。



神丘子ども会交通安全啓発

10月13日、神丘改善センター前の国道沿いで神丘子ども会による「交通安全啓発活動」はせきたな警察署今金交番の協力のもと行われました。晴れ渡る青空の下、保護者、子ども20名が参加し、「交通事故に気をつけて安全運転をお願いします」という声掛けと啓発グッズを手渡しました。

終了後、今金交番の小林所長から参加した子どもたちに「交通ルールを守ること、日が暮れるのが早くなるので事故に十分気をつけましょう」とあいさつがありました。

